

令和4年度 学校評価 自己評価書 (2学期)

※ 評価規準 4…十分達成 3…概ね達成 2…やや達成不十分 1…達成不十分

1 学校の重点目標

(1) 分かる授業の実践による主体的な学習態度の育成と学力の向上
(2) 「心に届く生徒指導」を推進し、基本的な生活習慣の確立
(3) 命の教育と健康でたくましい体づくりと安全教育の充実

2 課題と改善策

評価の観点	【評定平均】→	職員	評価結果と改善方策等
学習指導	1 学習のしつけや学び方等の学業指導がなされているか。(学校の共通実践事項への取組)	2.9	○ ICT機器の活用を意図的に進めることができた。 △ 学習のしつけに引き続き取り組みたい。
	2 「めあて」と「まとめ」の整合性に留意し、授業の終末(ラスト10分)の充実がなされたか。(「わからないを残さない」授業の実践)	2.6	
	3 問題解決学習・体験的な学習を通して、子供の主体的学習の時間を確保し、指導の工夫をしているか。	2.8	
	4 地域素材(人・物・自然・文化)を積極的・計画的に活用されているか。	2.7	
	5 ICT機器(タブレット、大型テレビ、書画カメラ等)を一日一回以上は活用しているか。	3.5	
	6 適切に学習の評価がなされ、それを指導に生かしているか。	3.1	
生徒指導	1 全職員が情報を交換し合い、一体となって、生徒指導の方針に沿った共通指導がなされているか。	3.1	○ 生徒指導の連絡会が行われ、全職員で情報交換や改善策等話合うことができた。 △ 「4あわせ運動」について全職員で指導を継続する。(特に挨拶、廊下歩行)
	2 「4あわせ運動」(R4の重点:挨拶・安全)について、機会をとらえ、継続的に指導がなされているか。	2.8	
	3 日常の報告・連絡・相談により、問題の早期発見に努め、問題発生後の指導は適切に行われているか。	3.3	
	4 教科・道徳・特別活動との関連で、読書指導の充実、JRC活動の充実等が積極的に行われているか。	2.9	
	5 アンケートや教育相談、遊び、観察等を通し、学級集団や子供たちの実態把握に努め、効果的な指導がなされているか。	3.2	
保健指導	1 校内の諸施設設備は、健康安全の視点から適切に処置がなされているか。	3.4	○ 安全点検や、その後の処置等早く対応することができた。 ○ 感染症対策にしっかり取り組むことができた。 △ 生活リズムや疾病治療状況等、実態を把握し継続した指導をしていきたい。
	2 子供の危険予知能力を育成する指導や非常災害時における連絡体制及び事故防止対策はなされているか。	3.0	
	3 生活リズム表や歯磨き、疾病治療等について、継続的に指導がなされているか。	2.9	
	4 体力・運動能力調査の結果を基に、体力づくりの継続的な指導がなされているか。(一学校一運動『なわとび運動』の実践、長座体前屈・反復横跳び・ソフトボール投げの向上につばがる運動)	2.7	
	5 学校版環境ISOや環境衛生に関する取組が継続的になされているか。(節電・節水等)	2.7	

3 次学期に向けての取組

- 学習指導：分かる授業の実践
 - ①「わからないを残さない」授業(個に応じた指導の充実)
 - ②振り返り活動の徹底 ③ICTの積極的活用(まなびポケット)
- 「4あわせ運動」(一校一改善)の実践が図れるよう、言葉掛け・見届けを確実に行う。
- 保健指導：疾病治療を勧める。(むし歯治療率：70.9%)